

「平家の落人伝説を歩む⑤」

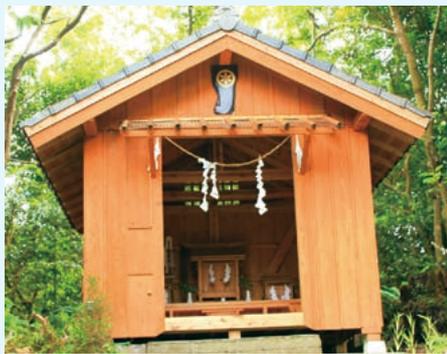
「錦江町池田地区③」

今月は、「大根占町誌」や段中野自治会の方からの情報をもとに制作しました。

今月も、先月に引き続き

池田地区を歩んでみたいと思います。半ヶ石集落より約北へ4km進むと、段集落（段中野自治会）があります。この一族は、平の姓を名乗ることをはばかり、段の姓へ称したと町誌にあります。段という姓は壇ノ浦の「壇」から取ったと伝えられており、名字の頭文字に多く「平」の字を用いています。

また、この集落には正月のシラスも門松も絶対に立ててはならない、という掟が現在でも残っています。



集落では、「平家の落人」だけに門松を立てたりシラスを庭にまくと、人が住んでいるということが世間に知れ、源氏の追手に発見されて捕まる」と伝えられたそうです。

段集落の段さん宅には、半下石集落の釘田さん宅と同じように氏神が祭っており、毎年11月には氏神祭りを挙げており、山神の氏神として遠方より参拝やお礼参りに多く来られたそうです。また、「山之神縁起や兵法書」など軍術書が残されており、平家の落人か

ら伝わってきた部分もあるのではないかと伺えます。現存するものとして、段集落には現在も、三本の刀や矢尻が現存しており、大事に保管されているそうです。

段集落から北に行くくと、中野という集落があります。（現在は、段集落と中野集落は統合し、段中野自治会となっています。）中野集落にも刀が現存していますが、いつの時代かは不明となっています。

段中野自治会の中野シツエさんに話を聞くと、「昔は

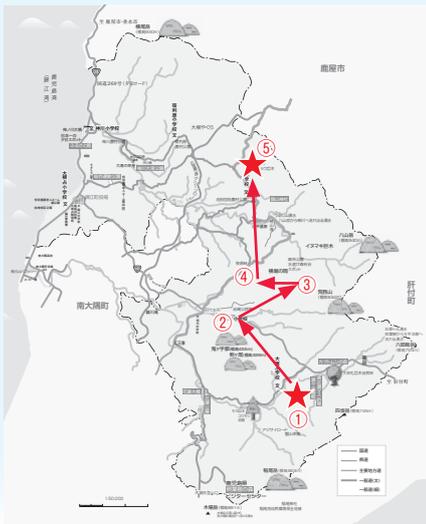


中野集落も100人ほど集まり4月3日に氏神を祭っていた。他の集落からも来られ賑やかだった。」と話されました。

田代地区にも中野という平家の落人の末裔とされる姓があり、この集落とも何かしら繋がるものがあるのかもしれない。

来月は、池田地区から宿利原地区方面へ歩いてみたいと思います。

平家の落人伝説にまつわる伝説や史跡などありましたら、情報提供をお願いいたします。



錦江町の歴史や言い伝え、昔の遊びや行事など、特集を組んで取り上げて行きたいと思います。町史や各資料より調べ掲載していきますが、掲載した内容と違う見解の資料などありましたら、錦江町役場企画課広報へご連絡下さい。錦江町の歴史や文化をひも解き、観光や地域づくりに繋げて行きたいと思います。また、個人でお持ちの歴史的資料や写真、言い伝えなどありましたら、取材や調査に行きたいと思いますのでご連絡下さい。

【問い合わせ先】 錦江町役場 企画課 Tel 0994-22-3032